

「春夏に行う身近な木の手入れ方法」開催レポート

令和6年6月13日（区役所・中央公園）、14日（こども支援センターげんき・西新井公園）

講座の内容

前半の講義では、剪定方法や病害虫対策について、解説していただきました。後半は剪定バサミによる「オオムラサキツツジ」の剪定を体験したほか、病害虫の被害の様子や樹木の生育環境などについて、講師に解説していただきながら園内を散策しました。

<講義の様子>



虫により、樹木が枯れるメカニズムを説明いただきました。(写真はカシノナガキクイムシ)



実物を見ながら、すかし剪定の方法や、樹木を一回り小さくする方法を学びました。



病害虫対策で有効な薬品等を紹介して頂きました。

<実習の様子>



中央公園、西新井公園ともに快晴の下「オオムラサキツツジ」の剪定を体験しました。機械で刈るのとは違い、柔らかい印象に仕上がりました。



公園内を散策しながら、樹木の特性等に関して説明頂きました。



講師
岸本 昭雄先生

「1級造園施工管理技士」、「樹木医」としても活躍する造園技術者。造園工事や樹木等の維持管理委託業務に携わっており、平成28年頃から足立区での「剪定講習会」等の講師を務める。

大きくなりすぎてしまった木やモサモサの枝はどこで切って良いのかわからないけれど、講師の方の剪定をみた後に、実習することで勉強になりました。
(60代 初参加)

剪定技術を実際に学ぶ機会は初めてであったため、樹形をきれいに整える知識を学ぶことができ楽しかった。
(20代 初参加)

害虫について、本物がみられて、よく理解できました。
(50代 2回目)

参加者の声